

バス 中部

しずてつジャストライン株式会社

風間 直幸（営業部長）

## 少子高齢化・人口減少時代に向けたしずてつジャストラインの取組事例

しずてつジャストライン(株)  
営業部 風間 直幸



弊社は、平成 14 年 10 月 1 日に静岡鉄道(株)より分社し、静岡県の中中部地域（静岡市から袋井市）において、90 路線 404 系統で年間 37,500 千人のお客様に、ご利用を頂いているバス会社です。

少子高齢化・人口減少は、静岡においても現れており、総人口に対する年齢構成比率で比較すると、昭和 40 年に年少人口 26.7%・生産年齢人口 67.0%・老年人口 6.4%であったものが、平成 18 年には年少人口 14.1%・生産年齢人口 64.6%・老年人口 21.2%と変動しており、今後においても、この傾向がより進んでいくと予測されています。

この問題に対して弊社では、年少人口・生産人口の減少に伴う、通勤通学交通需要の減少への対応： 増加する老年人口需要層への対応の 2 点を課題とし、取り組んでいるとこ

るです。

まず、 の課題への対策としては、学校の土日休みに合わせた、通学定期券（ウィークデ-定期券）の発売、沿線学校の登下校に合わせた、利用しやすい運行ダイヤ編成などを行って参りました。

しかし、残念ながら現在は、一家に一台から、一人に一台の時代へマイカーの普及が進み、どこへ出掛けるのもマイカーで、バスに一度も乗った事のない子供達が増え、バスに乗ろうとしても「バスの乗り方が解からない」という声が多く、営業施策やハード面でのサービス向上だけでなく、ソフト面での啓発が、重要な課題でした。

この課題に取り組む為に、先生方にも協力を頂き生まれたのが、公共交通について学習する、小学 2 年生の生活科の単元に合わせて行うバス教室です。

この出前授業は、学校へ実際にバスを乗り入れ、時刻表の調べ方や方向幕の見方、整理券と運賃幕の見方から運賃の支払い方、バス車内でのマナー、バリアフリー、自家用車とバスの燃料消費や、二酸化炭素排出量の違いなどを、実物のバスに実際に触れて学習する事で、バスをより身近に感じ、バスの必要性を理解してもらおうと、積極的に開催しているものです（現在、年間約 50 校で開催させて頂いております。）

更にこの経験を、実際の生活で体験する事で利用喚起を図ろうと、GW・夏休み・冬休みに、こども 1 乗車 50 円運賃と、バス乗車に楽しみを付加した、「バスで出かけた、夏休みの思い出絵葉書コンテスト」を行っています。

次に、 の課題への対策としては、低床車両導入やバリアフリー対策を積極的に行い、乗降の負担を軽減すると共に、運賃支払いの煩わしさの解消と割安感から、気軽にバスで外出してもらおうと、70 歳以上のシルバー層向け全線フリー定期券（一部観光・高速路線除く）大御所パスを発売しています。

当年度からは、更にこの大御所パスの利用拡大を図ろうと、大御所倶楽部という組織を立ち上げました。

この組織内には、運営協力委員会を設け、お客様の代表に委員になって頂き、倶楽部活動運営に参加しながら、いろいろなアドバイスを頂いております。

このアドバイスから、シルバー層のお客様が求めるサービスを追求し、バスの魅力を高め、付加価値を向上させる事で、需要喚起を図っていきたくと考えています。

倶楽部活動として本年度は、日帰り温泉ツアーの実施、地元ボランティアガイドとタイアップしての史跡探索ウォーキングを行いました。

弊社では、今後もハード・ソフト両面の整備を積極的に進めながら、これらと営業施策の融合を行い、いろいろな角度から、輸送という商品の付加価値を高め、新規のお客様を開拓し、バス利用の需要喚起を図る事で、少子高齢化や人口減少時代に、活路を見出していきたいと考えております。

参考資料

バス教室

燃料消費実験を見る子供達



燃料消費実験



時刻表や方向幕の見方



整理券の取り方・ICカード・磁気カードを使っでの乗車体験



現金・ICカード・磁気カードでの運賃支払い体験



バリアフリー乗車体験



バリアフリー・車椅子固定体験



夏休みの思い出絵葉書コンテスト  
優秀作品展示



優秀作品表彰式



大御所倶楽部

駿府城跡史跡ウォーキング



巽櫓付近での観光ボランティアの説明



大御所パス・ネーミングの由来でもある家康公（大御所）銅像付近での説明

